

バトミントン協会

沿 革

幕別町のバトミントンは、幕別町体育連盟に同好会としていたが、これといった活動もないまま数年間を過ぎていたが、昭和42年に町内の数少ない経験者を集めて、定期的な練習を開始したが、人数、施設にとぼしく思うにまかせなかったが、昭和48年に教育委員会の協力を得て一般住民を対象としてのバトミントン教室を毎週火曜日に幕別中学校で開設した。その後、参加者の増加と距離的な問題で札内にも開設し毎週2回実施したのであるが、冬期間の教室開設は厳寒のため充分に出来ない状態であったが、幕別小学校及び札内南小学校の新設体育館の開放によって通年開設がされ、本格的な活動がされてきたものであり、昭和54年に十勝バトミントン協会に加盟した。



現会長 角田 有功

現 況

現在、幕別・札内合わせて60余名の会員がおり、この中には大学又は高校での経験者も多く、そのレベルを一段と向上してきている。中でも本年から道民スポーツの競技種目にとり入れられ、男女各1チームが参加し、初陣ながら女子にあっては3位、男子は準々決勝まで駒を進めることができた。又、陸別で開催の第3回十勝町村大会にも男女各2チーム(30名)を参加させ、男子は準優勝の好成績を収めた。さらには、十勝バトミントン協会等主催の各種大会には、個人戦に出場し、優秀な成績をあげている。一方、例年実施している町内大会も第6回を数え、年々参加者も増え本年は40数名の参加があり日頃の練習の成果を競いあった。

展 望

会員の技術も管内のトップレベルにある者も数多くなり、今後、参加者の拡大を図るために、小・中学生、ママさん等の部門別の技術向上を促し、手軽にできるスポーツを町内に普及定着させるよう努力したい。さらに管内からの試合申込みも多く、交換試合等を通じ各町村との友好親善を図りたい。